

研修講師は、現役パナソニック社員です。パナソニックの社内研修を担当しています。

研修場所は、パナソニックの研修施設です。

研修施設は、大人数での研修や、世界各地のパナソニック社員（同時通訳や大柄な机椅子等）にも対応できるよう、緻密な配慮の上、設計されています。敷地内には、光雲荘（創業者：松下幸之助の旧家。社の迎賓館としても利用されていた建物）があります。パナソニックの源流である「松下電器」からの、「経営理念」にも触れながら、研修は行われます。

研修内容は、パナソニックの社員になった、疑似体験ができるものです。何故ならば、パナソニック社員が、社内研修で受講する内容をアレンジしたものだからです。

社外に出ない資料やデータを題材にし、パナソニックが実際のビジネスシーンで行う、商品企画や市場調査、競合他社の動向を踏まえて新製品投入する際の戦略立案、また、実際のプロジェクトの計画・管理の実践演習等、この研修でないと、滅多に経験できない内容です。

研修初日は、社会人に必要不可欠なビジネスマナーの会得から始まります。講師は、パナソニック社長秘書等を務めた方です。経営幹部をサポートする中で経験した、ビジネスに関するエピソード等も織り交ぜ、学生と社会人の違いや仕事の醍醐味について学べます。

2・3日目は、戦略立案や市場調査を行うための手段（DZ カンニング やプレゼン手法等）を学びます。

4・5日目は、1～3日目で学んだ内容を基にし、パナソニック社員として、マーケティングもしくはプロジェクトマネジメントの実践演習に取り組みます。

マーケティングでは、パナソニックのノート型パソコン（レッツノート）などをテーマにしなが、商品企画に取り組み、机上の空論でない、現実のビジネスシーンを疑似体験できます。

プロジェクトマネジメントでは、パナソニック社内だけでなく、グローバルなビジネスの現場で通用する仕事の基本スキルである「複雑な仕事を計画し、コントロールする手法」を学び、即戦力としてビジネスで使える知識とスキルをマスターします。

